

新技術概要説明資料（2 / 5）

新技術名称

レジテクトBT-C工法, D1工法

登録No.

1579

(特 徴)

(長 所)

- ・吹付け作業により、複雑な形状に均一な厚さの被覆層が形成できる。
- ・超速硬化することで、季節関係なくまた湿気や気温に影響せず工期の短縮が可能。
- ・無溶剤・無触媒で可塑剤も含まないので環境にやさしい。

(短 所)

- ・吹付け工法である為、設計時より飛散防止を含めた仮設計画が必要である。

(施工方法)

- ①下地処理：高圧水洗またはサンディングなどによりコンクリート表面に存在するレイタンス・ほこり・汚れなど劣化部除去し、断面修復
- ②素地調整：下地調整材およびプライマーの塗布施工
- ③被覆層形成：機械吹付機によりA・B剤を加温・温調しながら高圧で圧送し、専用ガンにて衝突混合させてスプレーすることにより1. 8mm厚の塗膜を形成する。

(施工単価等)

1(1). 歩掛りあり (標準) 1(2). 歩掛りあり (暫定) 2. 歩掛りなし

1 (2)

掲載刊行物

建設物価 (有 ・ 無) 掲載品目 ()積算資料 (有 ・ 無) 掲載品目 ()

(下水処理施設用防食ライニング工法 レジテクトBT工法 SQS工法)

その他 (カタログなど)

下水道処理施設用防食ライニング工法
ポリウレア樹脂スプレーライニングレジテクトBT工法

積算資料等

レジテクト工業会BT工法積算歩掛表

施工管理基準資料等

日本ポリウレアスプレー工法協会施工マニュアル (下水道事業団マニュアル準じる)

新技術概要説明資料 (3 / 5)

新技術名称	レジテクトBT-C工法, D1工法	登録No.	1579
<p>(適用条件)</p> <p>(適用できる条件)</p> <p>(現場条件) ・ 施工部分は乾燥状態を保つこと。 ・ 人が入る事が出来ること。 ・ 吹付施工のため、コンクリートからの距離が80cm以上保てること。 ・ 特殊圧送ポンプから90m以内の距離であること。 ・ 吹付システムは本体335kg幅1000×奥行900×高さ1240mm。</p> <p>(自然条件) ・ 気温0℃以上であること。 ・ プライマー5℃以上であること。</p>			
<p>(適用できない条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 降雨、降雪、強風等の悪天候・健全でないコンクリート躯体。 ・ 湿潤面、常に湿度が80%超えの場所。 			
<p>(設計上の留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 吹付け工であるため、設計時より飛散防止を含めた仮設計画が必要である。 ・ 著しいひび割れ、漏水、断面欠損または脆弱部等ある場合は、それぞれに対し、対策工・復旧工が別途必要である。 ・ 面積の小さい現場では、機械損料など価格割増の傾向がある (300㎡以下)。 ・ プライマー、ポリウレタ吹付時は、槽内湿度環境に留意する必要がある。 ・ 躯体劣化部、ピンホールは事前の補修が絶対条件となる。 			
<p>(施工上・使用上の留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 降雨、降雪、暴風の場合は作業を中止すること。 ・ 著しいひび割れ、漏水、断面欠損または脆弱部等ある場合は、それぞれに対処策工・復旧工が必要。 			
<p>(残された課題と今後の開発計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地下コンクリートのピンホール制御対策 ・ ピンホール制御プライマーの開発 			
<p>(実験等作業状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プライマー粘度を変えピンホール充填性、膜厚付着性を検査中 			
<p>(添付資料)</p> <p>実験資料等 現在作成中</p>			
<p>その他</p>			
特 許	<input type="checkbox"/> 1. 有り (番号:) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4:無し	番号	
		特許番号	
実用新案	<input type="checkbox"/> 1. 有り (番号:) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4:無し	番号	
		新案番号	
評価・証明	建設技術評価制度番号 民間開発建設技術の審査証明番号 BT-D1 (071358) 、BT-C (071375) 証明年月日 平成19年11月15日 制度等の名称 証明機関 財団法人日本塗料検査協会東支部 制度等の名称 制度等の名称 日本下水道事業団下水道コンクリート構造物技術及び防食技術マニユアル平成19年度7月版塗布型ライニング規格C、D1種		
その他の制度等による証明	制度名、番号 証明年月日 証明機関 証明範囲	証明年月日 証明機関 証明範囲	

新技術概要説明資料（4 / 5）

新技術名称		レジテクトBT-C工法, D1工法		登録No.	1579
実績件数		公共機関:	103	民間:	27
発注者	施工時期	工事名		CORINS登録No.	
東京都下水道局	2014年	葛西水再生センター北系第一沈殿池流出渠他整備工事			
東京都下水道局	2014年	芝浦水再生センター東系第一沈殿池整備工事			
諏訪市	2013年	鹿山第一別荘配水池			
横浜市	2012年	北部第二水再生センター第三ポンプ施設築造工事			
日本下水道事業団	2012年	東京都勝島ポンプ所連絡管渠建設その5工事			
東京都下水道局	2012年	砂町水再生センター第一沈殿池整備工事			
千葉県印旛沼下水道事務所	2012年	花見川第二終末処理場第二系列最初沈殿池防食塗装工事			
千葉県手賀沼下水道事務所	2011年	手賀沼終末処理場汚泥濃縮棟初沈重力濃縮汚泥貯留槽防食工事			
東京都下水道局	2011年	南多摩水再生センター鈴処理施設その16工事			
東京都下水道局	2010年	砂町水再生センター東陽系第一沈殿池整備工事			

施工実績

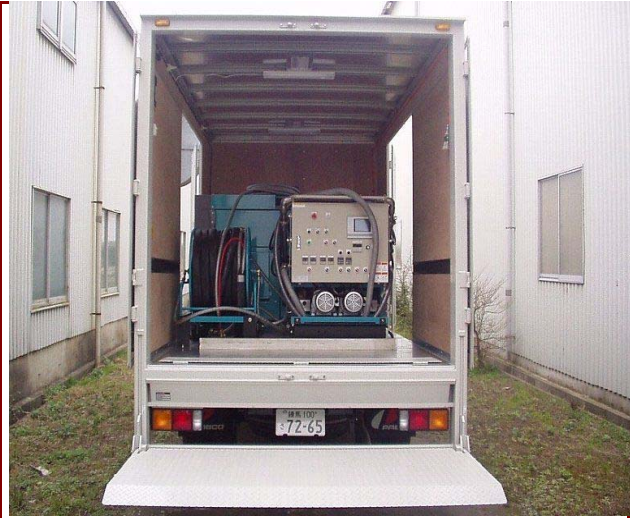
新技術概要説明資料 (5 / 5)

新技術名称

レジテクトBT-C工法, D1工法

登録No.

1579



吹付機械



プライマー塗布



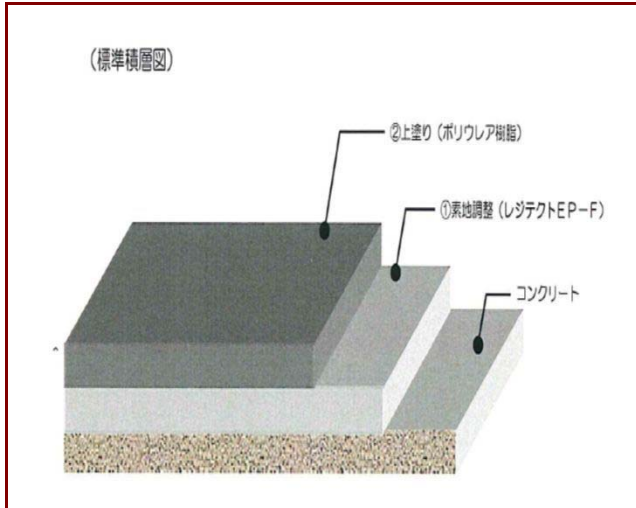
ポリウレタ吹付



ポリウレタ吹付



ポリウレタ吹付



概要図